

# With ウィズ

～私たちが私たちに楽しく暮らせる地域づくりを  
みんなですすめようという意味を込めています～

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

TEL(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 kyoseimachi@n-shakyo.jp

## 生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員) って??

平成27年の介護保険法改正では、高齢者等が介護や医療が必要になっても住み慣れた地域で暮らしていける地域づくりを目的に、市町村が中心になって、より地域に応じた形態の「地域支援事業」を行うことになりました。

このことを推進するための仕組みの一つが、自治体ごとに配置の「生活支援コーディネーター」です。西宮市においては西宮市社会福祉協議会（社協）に委託されています。

当初は2人からスタート、現在は第1層（全市域）が1人、第2層（概ね小学校圏域）が5人の計6人の配置となり、社協内では「共生のまちづくり課」（事務所は地域共生館ふれぼの内）に属しています。

第2層コーディネーター5人は市内5つの地域包括ケア連携圏域（中央、鳴尾、瓦木、甲東・甲陽園、北部）をそれぞれ担当し、地域住民や団体、専門機関等と一緒に、地域の支え合いを推進する取り組みを行っています！

★“共生のまちづくり”を目指して、生活支援コーディネーター（6人）がそれぞれ地域で活動しています！



(上段左より)

高田（北部）・音川（全市）・中川（甲東・甲陽園）

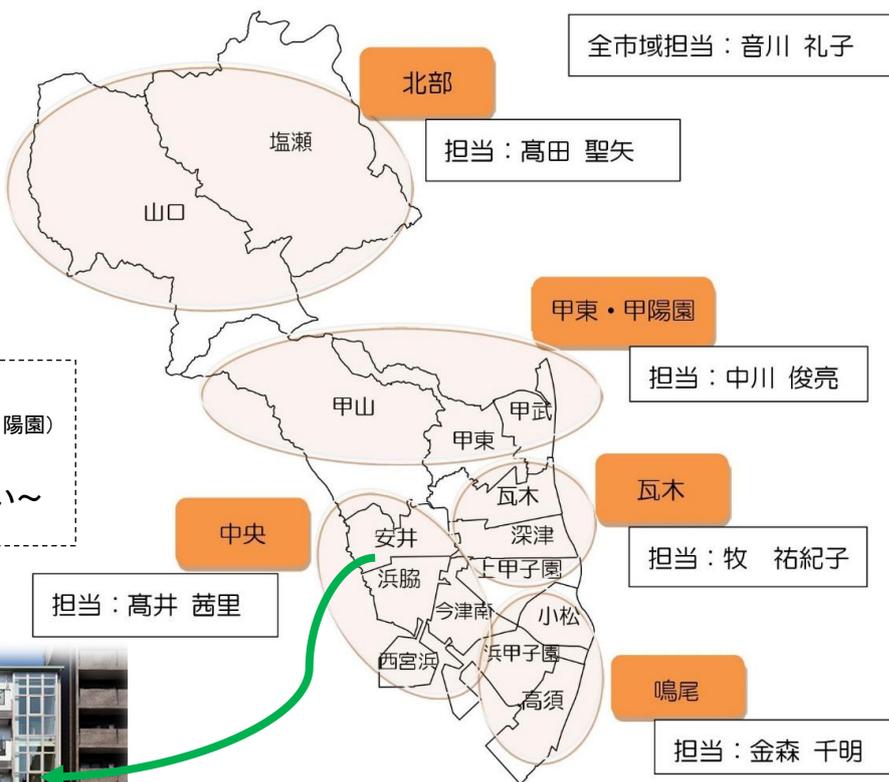
高井（中央）・金森（鳴尾）・牧（瓦木）

～地域で見かけたら、お声かけください～

生活支援コーディネーターの

事務所は・・・

「地域共生館ふれぼの」  
です！（中前田町）



生活支援コーディネーターの具体的な活動は裏面へ→

## 地域のつどい場を増やしたい！ ～居場所づくり～

市内のつどい場  
14ヶ所で「つどい  
場ネットワーク」を  
結成しています！

誰もが気軽に集まることができる「居場所づくり」を進めています。  
住民同士がより身近に、気軽に集まることができる「地域のつどい場」  
個人の家や空き家、集会所や自治会館等を活用した多様な  
つどい場づくりを、やってみたいと思う方に寄り添いながら  
一緒に考え、立ち上げサポートや活動支援を行っています。

市内のつどい場実践をふまえて、みんなで生み出した  
「共生型地域交流拠点」は現在、市内3ヶ所にあります。  
地域の「常設つどい場」としての役割発揮や効果を検証  
しながら、市内全域への普及を進める取組みを地域住民や  
団体、社会福祉法人等と一緒に進めていきます！



個人宅を活用した住み開き型「つどい場」

### ～共生型地域交流拠点の紹介～

#### カフェ型の誰もが集えるつどい場です

- ① まち cafe なごみ (鳴尾東地区社協圏域)
- ② ふくふくサロン (今津地区社協圏域)
- ③ ふればのカフェ (安井地区社協圏域)

地域の居場所づくりに関する講座  
や交流会等も開催しています。  
お気軽に問い合わせください！

### ～主な取り組みを2つ紹介します 次号以降もお楽しみに～

## 「スーパーお片づけ隊」出動！！ ～地域の課題解決への仕組みづくり～

地域で起きている課題を地域住民や団体、専門職等と  
一緒に解決するための新しい仕組みづくり（ネットワーク・連携をとおした資源開発）  
を行っています。

最初に作った仕組みは「大型お片づけサポートプロジェクト」  
現在、地域では認知症や様々な障がい等が要因となって、“気が付  
いたら家の中にゴミが溢れていた”“物の整理ができず家中が物だらけ”  
といった方や世帯が増えています。



そんな状況に対応して、ボランティアや学生、専門職等で「スーパーお片づけ隊」を結  
成、片づけ・整理のお手伝いを行うことで、ご本人やその世帯が住み慣れた地域で暮らし  
続けられる支援を目指しています。

（※仕組みになりますので、常にスーパーお片づけ隊が存在するわけではありません）



「スーパーお片づけ隊」  
シルバーボランティアと  
学生ボランティアが片づ  
け終了後に交流していま  
す☆

制度狭間にある方や、複合的な課  
題を抱える世帯等への困りごと  
についても、圏域の専門職等のネッ  
トワークづくりをとおしてアプロ  
ーチしていきます！